

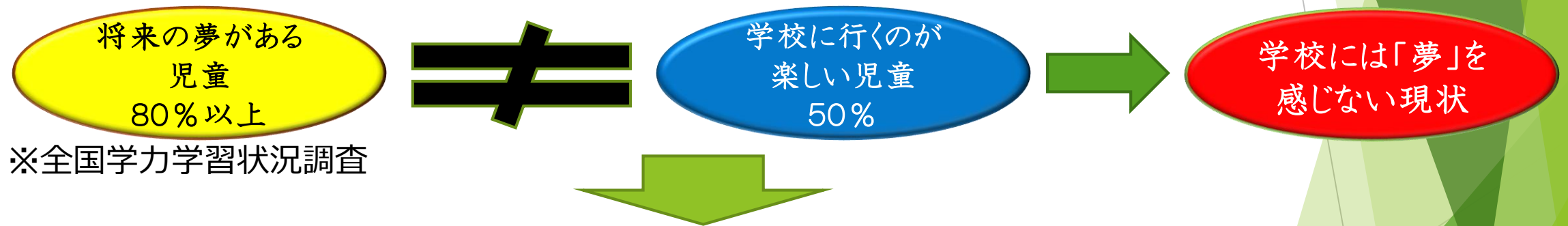
開校150周年記念 クラウドファンディング
「自然体験を核とした学校づくり」



戸田市立笹目小学校

笹目小学校の実態

- ・ 戸田市西側に位置し、荒川沿いの比較的 natura が豊かな地域である。
- ・ 子供見守り隊等、学校への地域の協力は充実している。
- ・ 明るく元気のよい子供たちが多く、素直である。
- ・ 様々な社会経済的背景を抱えた子供達が在籍している。
- ・ 児童の学力水準が国・県・市と比較して低く、従来の学力向上対策の効果が見られない。



★ → 子供を育てる学校から子供が育つ学校への転換
「自然体験活動」に特化した学校教育
～動植物とともに暮らす学校～

自然体験活動による期待できる効果

＜主に児童に身につけさせたい資質・能力＞

- ・「学びに向かう力・人間性」の育成
- ・主体的に学習に取り組む態度の育成

主体的に活動することを通して、思考力・判断力・表現力等を活用し、実社会に生きて働く知識・技能を育んでいく。

教科学習への派生
学力向上へのアプローチ

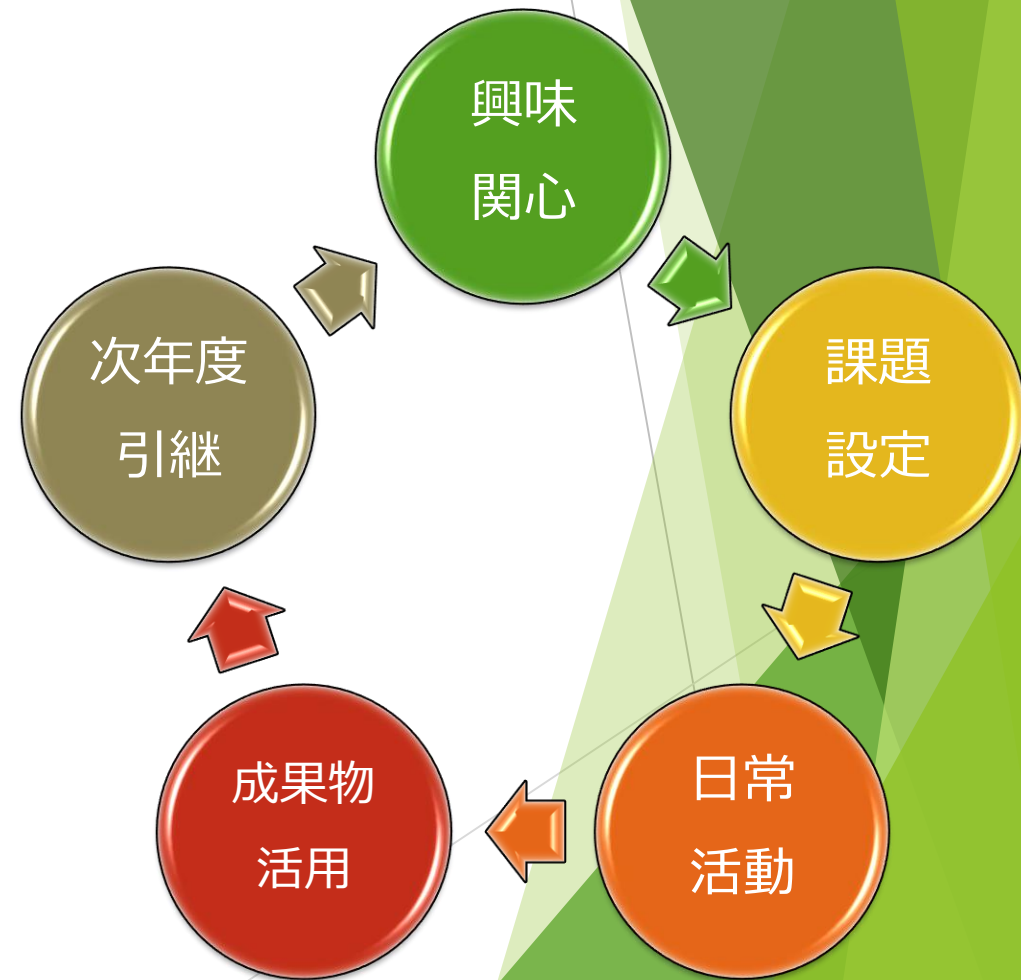
＜自然体験活動のポイント＞

- ・自然体験活動の日常化「毎日ふれられる環境」
- ・自然体験活動を主軸に置いたカリキュラム・マネジメント
「点から線、面、立体へ発展」
- ・中長期的な視点「笹目小の新たな伝統の創出」

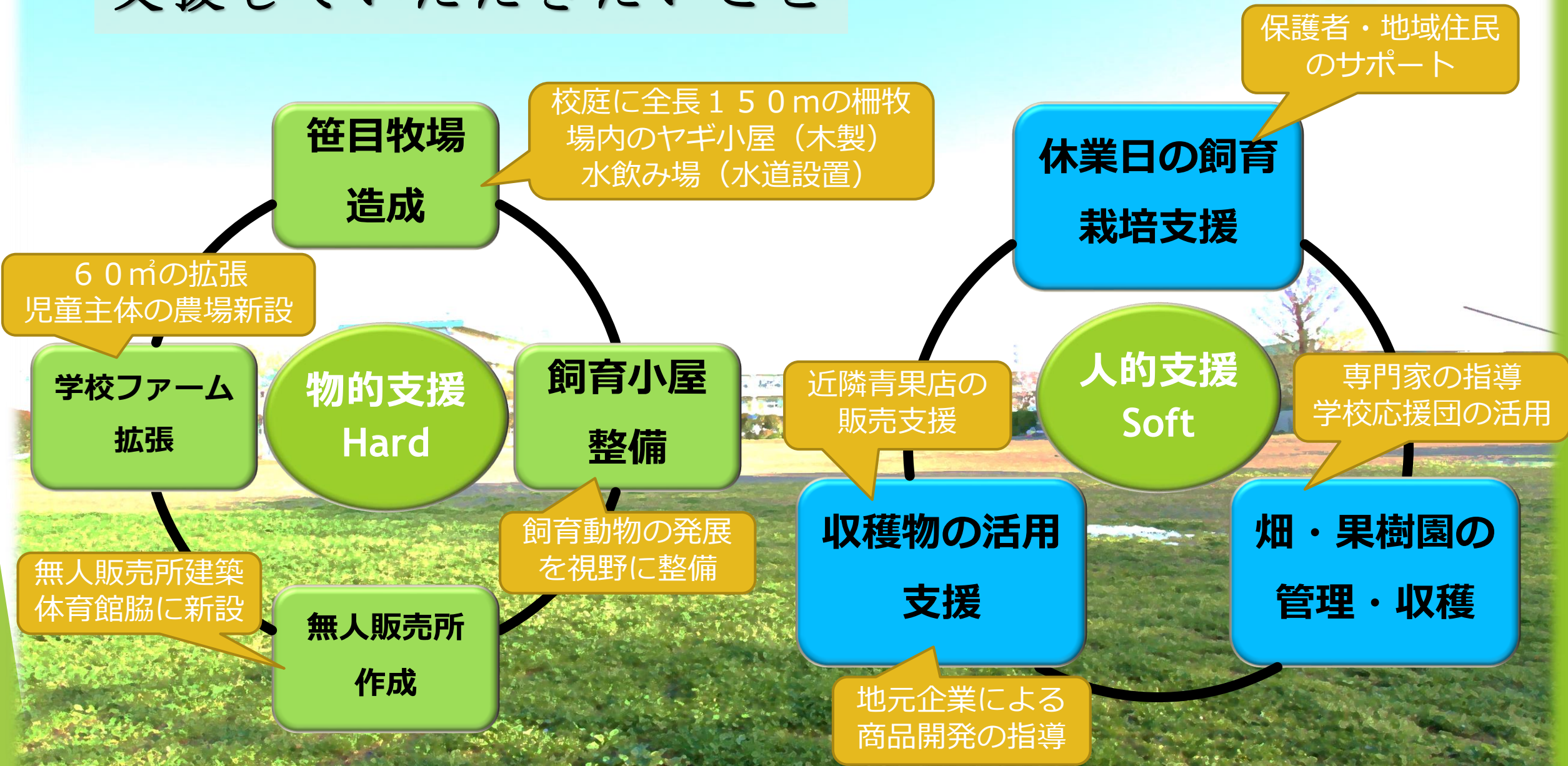
農業×酪農 学習活動の流れ

生活科・総合的な学習の時間・特別活動を中心に、全教科と関連づける

- ① 児童の興味・関心の向上
- ② 個々の課題設定（農業・酪農）
- ③ 日常的な活動（飼育・栽培）
- ④ 収穫物等の活用（製品化）
- ⑤ 販売活動の実施（販売）
- ⑥ 収益金の使い道検討（経費）
- ⑦ 次年度への引継ぎ等（持続性）



支援していただきたいこと



成果指標

《短期的な指標》（令和5年度）

指標：牧場・農場を1日1回以上活用した児童の割合

目標：90%以上

手立て：学級・学年単位の授業における計画的な活用促進
休み時間・放課後・休日の活用方法の開発・実施

《中・長期的な指標》（令和5～7年度）

指標：戸田市授業がわかる調査の授業が楽しい児童の割合

目標：全教科平均90%以上

手立て：牧場・農場を活用した学びによる学習意欲向上
教科横断的な学びによる他教科等への派生